

事業所名 **グループホーム さくらんぼ**

日付 **平成18年2月24日**

評価機関名 **特定非営利活動法人
高齢者・障害者生活支援センター**

評価調査員 ① **介護支援専門員・介護福祉士**
② **1級ホームヘルパー**

自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)

事業者のコメントを見る
(評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります) ※

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
・吉井川沿いの桜並木を通り抜けると四季折々の景色と、のどかな田園に囲まれホームがあり敷地も広く、敷地内では畑をしたり、散歩をしたりと落ち着いて生活ができる環境である。
・家庭的な温かさや愛をもって信頼を築くを基本理念に掲げ、利用者一人一人の生活を尊重し、温かい家庭的な雰囲気の中で過ごせるようスタッフが常に創意工夫の意識を持って、利用者一人一人と向き合う姿勢が感じられた。
またスタッフ間の連携も密にとられており、施設長、管理者とも話し合いがよくできており一団となってサービス提供にあたられている。その連携のよさがケアに反映されており、利用者が生き生きと元気で生活に満足されていた。

特に改善の余地があると思われる点
開所1年未満でもあり今後、期待したい点として以下の提案をさせて頂いた。
・今後の制度改正もある事から専門家(看護師、歯科衛生士)の介入があればよりいいサービスが提供でき重度介護者への対応にもつながるのではないか。
・ホーム内での研修は充実しているが、外部への研修も積極的に参加できればより一層質の向上になるのではないか。
・地域との交流について工夫されたらよりよいと思う。

Ⅲ ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人の力と経験の尊重やプライバシー保護の為に取り組んでいるものは何か。 利用者が経験した事のあるおこわや昔の物の作り方を聞き、得意な物があれば行ってもらったりと一人一人の能力や経験を尊重できるよう取り組んでいる。		

Ⅰ 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。 「家庭的な温かさや愛をもって信頼を築く」を基本理念とし、家族、利用者、関わりのある医療機関に対して常に愛をもって接するよう心がけている。 利用者の尊厳と生活の質を保ちながら一人一人の生活スタイルが維持できる環境作りを目指し、スタッフと利用者が寄り添い、家庭的な温かさの中安心して生活できるホームにしたいとスタッフが熱意をもって取り組んでいる。		

Ⅱ 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周リや空間の活用	○	
5	場所間違え等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。 入居者が今まで行っていた事(洗濯、掃除)を声掛けして行ってもらうようにしたり、本人が求めているものしたい事が提供できるよう取り組んでいる。また時には事務所で利用者と向き合い話しをし聞くように努めている。		

Ⅲ ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

Ⅳ 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 利用者に関わる時間をできるだけ設けるよう、開所当初の業務マニュアルを再度見直しを行い、ゆっくりと関わられるよう努めている。また小さな事でもヒヤリ・ハットを記入し原因を分析し大きな事故につながらないよう日頃から取り組んでいる。		